

● **宗教法人 d b Version:8.404**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 摘要辞書登録の自動仕訳拡張対応
 - 摘要辞書の自動仕訳を複数登録できるように対応し、摘要から仕訳を自動作成する際に選択できるようにしました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人 d b (VERSION:8.404) の変更点**”を参照してください。

❗ **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

宗教法人 d b (VERSION:8.404) の変更点

改良 (摘要辞書登録の自動仕訳拡張対応)

概要

- ・摘要辞書の自動仕訳を複数登録できるように対応し、摘要から仕訳を自動作成する際に選択できるようにしました。

I. 科目設定・残高登録

1) 摘要登録

- ・「摘要に自動仕訳の科目を設定する」のチェックがオンのときに複数登録できるようにしました。
- ①右端に「複数行」列を追加し、自動仕訳が複数登録されている摘要は「○」を表示します。

摘要名称	カナ	消費税	借方科目	貸方科目	複数行
	コーヒー		交際費		○
	ガソリン		福利厚生費	現金	
	インシ		交際費	普通預金 1	○
	トウモロコシ		消耗品費	現金	
	デンシ		旅費交通費		

②貸方・借方科目欄には、③摘要仕訳編集画面の各タブで一番上に登録されている行の科目を表示します。

複数タブに登録がある場合は、【複合仕訳 (仕訳入力・原票読取用)】 > 【複合仕訳 (銀行・通帳読取用)】 > 【単一仕訳 (共通)】の優先順で表示します。

③摘要仕訳編集

借方科目・貸方科目欄をクリックすると、摘要仕訳編集画面を表示します。

単一仕訳 (共通) タブ

No.	借方部門	借方科目	借方枝番	貸方部門	貸方科目	貸方枝番
1		交際費				
2		福利厚生費			普通預金 1	
3		雑費				

- ・ [新規仕訳追加 (F6)] で登録を行い、 [仕訳削除 (F7)] で登録した仕訳を削除します。
- 従前までは 1 仕訳の登録でしたが、複数仕訳の登録、また部門・枝番の登録に対応しました。
- 従前プログラムで登録していた内容は NO.1 に登録された状態になります。
- 該当の摘要番号を登録している枝番の前には * が表示され、科目入力時に自動でセットされます。

貸方科目	貸方枝番
売上高	1 [0001]*1月分

複合仕訳（仕訳入力・原票読取用）タブ

- ・仕訳入力、原票読取で使用可能な複合仕訳を登録します。
単一仕訳の項目に加えて、借方金額・貸方金額・仕訳転記摘要の登録が可能です。
[新規仕訳追加 (F6)] で登録を開始し、2行目以降の明細行が足りない場合は
[明細行追加 (F8)] で追加、不要な場合は [明細行削除 (F9)] で削除します。
明細行も含めてまとめて削除する場合は、[仕訳削除 (F7)]、もしくは先頭行で
[明細行削除 (F9)] で削除できます。

複合仕訳（銀行・通帳読取用）タブ

- ・通帳読取で使用可能な複合仕訳を登録します。
単一仕訳の項目に加えて、入金・出金・仕訳転記摘要の登録が可能です。
登録方法は複合仕訳（仕訳入力・原票読取用）と同様です。

※銀行データ受信（Fintech 対応）の「複合仕訳編集」は廃止され、登録していた内容は当画面に表示されません。

「固定値」は廃止し、入金・出金欄に金額の登録があれば自動仕訳が呼び出された際に金額がセットされ、登録がなければ金額は空欄になります。

1行目の科目は諸口固定になり、入金・出金欄の登録はできません。

印刷 摘要辞書一覧

複数仕訳の登録がある場合は、行を追加して科目のみ全て出力するように対応しました。

※ 摘要辞書一覧 ※

会社名： [00001000] 日本ICS株式会社 p. 1

番号	摘要名称	50音	消費税	借方科目	貸方科目
1	1月分	イカ		通信費(724)	当座預金 1(111)
2	2月分	オカ		旅費交通費(722)	当座預金 1(111)
				リース料(738)	当座預金 1(111)
3	3月分	オカ		仕入高 1(550)	当座預金 1(111)
					当座預金 2(112)
					当座預金 3(113)
				当座預金 1(111)	交際費(727)
4	4月分	オカ		当座預金 1(111)	売上高 1(511)

II. 仕訳入力

1) 伝票入力 2) 出納帳入力

①伝票入力画面

通常入力	検索項目	検索	伝票入力	出納帳入力
《 摘要辞書 》	1 1月分	9 9月分	17 手形期日	25 産業
	2 2月分	10 10月分	18 相互銀行	26 工業
	3 3月分	11 11月分	19 信用金庫	27 製作所
	4 4月分	12 12月分	20 銀行	28 株式会社
	5 5月分	13 小口	21 有限会社	29 雇用保険料
	6 6月分	14 科目振替	22 商会	30 厚生年金保険料
	7 7月分	15 振込料	23 商店	31 健康保険料
	8 8月分	16 期日落	24 商事	32 社会保険料

1仕訳ごとに部門を入力 複合入力 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 決

振替伝票 伝票番号 04月01日 諸口貸借 0

金額	消費税	部門借方	摘要	部門貸方	消費税	金額
税額			手形番号 手形期日 変事 付箋			税額

②出納帳入力画面

通常入力	検索項目	検索	伝票入力	出納帳入力
《 摘要辞書 》	1 1月分	9 9月分	17 手形期日	25 産業
	2 2月分	10 10月分	18 相互銀行	26 工業
	3 3月分	11 11月分	19 信用金庫	27 製作所
	4 4月分	12 12月分	20 銀行	28 株式会社
	5 5月分	13 小口	21 有限会社	29 雇用保険料
	6 6月分	14 科目振替	22 商会	30 厚生年金保険料
	7 7月分	15 振込料	23 商店	31 健康保険料
	8 8月分	16 期日落	24 商事	32 社会保険料

部門 科目 現 金 枝番 仕訳表示 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 決

番号	日付	伝票	部門	相手科目	摘要	変	入金	出金	税額	消費税	差引残高
1	04.01										

【F12 自動仕訳】で切替を行い、摘要を選択した際に自動で仕訳が作成されます。
 複数の自動仕訳登録があった場合には、摘要仕訳選択画面にて選択します。

伝票入力・出納帳入力共に、単一仕訳（共通）・複合仕訳（仕訳入力・原票読取用）に登録されている仕訳が表示されます。出納帳入力については、下記のルールに従って表示されます。

<出納帳入力の摘要仕訳選択>

◆単一仕訳

- ・基本科目と同じ科目が借貸どちらかにある場合 例) 基本：現金 現金/売上高1 仕入高1/現金
- ・借貸どちらかのみに登録がある場合 例) 基本：現金 仕入高1/空白 空白/売上高
- ・借貸どちらにも同じ科目が登録されている場合 例) 基本：現金 小口現金/小口現金

下記のケースは表示しません。

- ・借貸で基本科目以外の科目が両方に入っている場合 例) 基本：現金 当座預金1/売上高1

◆複合仕訳

- ・全ての行のうち、一つでも表示しない行があれば表示しません。

[伝票入力 of 摘要仕訳選択]

使用	借方部門	借方科目	貸方部門	貸方科目	仕訳転記摘要
<input checked="" type="checkbox"/>		事務用品費		普通預金 1	
<input checked="" type="checkbox"/>		支払手数料		普通預金 1	
<input type="checkbox"/>		広告宣伝費		売上高 1	
<input type="checkbox"/>		支払手数料		現金	
<input type="checkbox"/>		現金		売上高 1	
<input type="checkbox"/>		仕入高 1		現金	
<input type="checkbox"/>		仕入高 1		現金	
<input type="checkbox"/>		仕入高 1		現金	
<input type="checkbox"/>		仕入高 1		現金	
<input type="checkbox"/>		小口現金		売上高 1	
<input type="checkbox"/>		当座預金 1		売上高 1	

[出納帳入力 of 摘要仕訳選択]

赤囲みの仕訳は貸借で基本科目以外の科目が両方に入っているため、出納帳入力では表示されません。

1 番上の仕訳は複合仕訳なので、その複合仕訳に含まれる 2 番目の仕訳も表示されません。

使用	部門	科目	仕訳転記摘要
<input checked="" type="checkbox"/>		普通預金 1	
<input type="checkbox"/>		広告宣伝費	
<input type="checkbox"/>		支払手数料	
<input type="checkbox"/>		売上高 1	
<input type="checkbox"/>		仕入高 1	
<input type="checkbox"/>		仕入高 1	
<input type="checkbox"/>		売上高 1	
<input type="checkbox"/>		小口現金	

その他改良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ① F7 摘要登録-詳細登録 F3 画面の消費税属性の設定の入力可・不可を科目設定の摘要辞書登録タブの『摘要消費税区分を設定する』の設定で切り替えるようにしました。
チェックがオフの場合は、グレーアウトになります。

現在登録数: 298

摘要消費税区分を設定する

番号	摘要名称	消費税
37	印紙税	非課税
38	事業税	非課税
39	法人税	非課税
40	市区町村民税	非課税
41	都道府県民税	非課税
42	源泉所得税	非課税
43	ローン	非課税
44	リース料	非課税
45	賃借料	課税
46	リース代	課税
47	クリーニング代	課税
48	賃借料	課税
49	コピー代	課税
50	お茶代	課税
51	接待	課税
52	印刷代	課税
53	水道代	課税
54	切手代	課税
55	カンラン代	課税

②伝票形式入力で新規伝票を登録後、次の伝票に移る場合に、部門欄をその都度入力するか、入力した部門番号を固定するかの設定項目を伝票入力設定に追加しました。

下記図のように、伝票登録後の新規伝票の部門番号を「伝票毎に入力する」か「固定する」の選択を追加しています。※「1 仕訳ごとに部門を入力」のチェックが OFF の場合に有効になります。

伝票入力設定

仕訳タイプ初期値の設定
 複合仕訳 単一仕訳

プログラム開始時や仕訳登録の後等、新しい振替伝票を入力する時 『複合仕訳』で入力します。

振替伝票で資金繰り枝番入力
 行う 行わない

振替伝票で修正時、複合仕訳の表示
 詰めて表示 別行として表示

伝票登録時の伝票番号重複チェック
 行う
 重複時、自動で伝票番号を付番する
 行わない

伝票登録後の新規伝票の部門番号
 伝票毎に入力する 固定する

OK キャンセル

「伝票毎に入力する」を選択している場合、伝票毎に部門の入力が必要になります。

「固定する」を選択している場合、部門を選択して新規伝票を登録したあと、次伝票を登録するときに部門がセットされた状態になるため、同一部門で伝票を登録する時の入力の手間を軽減できます。

※「伝票毎に入力する」が初期設定になっています。

③検索や出納帳入力の仕訳リストの項目幅を広げられる対応を行いました。

④出納帳の項目幅の変更を保存するようにしました。

⑤定型仕訳の選択ダイアログの操作方法および画面レイアウトを変更しました。

【変更前】

定型仕訳の選択 (Home) 帳簿 / 個別 / 切替 / F12 伝票全選択

キャンセル 書込仕訳: **最初** ~ 個別 仕訳グループ: 1.売上取引

日付で税率の自動判定を行う

番号	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	摘要
1	現	金	売上高 1	110,000		10,000内10	現金売上
2	売掛	金	売上高 1	108,000		8,000内8	掛売上
3	現	金	売上高 1	21,600		1,600内8軽	売掛金回収
4	受取	手形	売掛金				売掛金回収
5	当座	預金 1	売掛金				売掛金回収
6	売上高 1	売掛金				内10	返品
7	売上値引	売掛金				内10	値引
8	売上戻り	売掛金				内10	返品
9	現	金	雑収入			内10	

【変更後】

定型仕訳の選択 (Shift+F11 矢印キー) 帳簿選択 (F12) 個別選択

仕訳グループ: 1.売上取引 ※番号欄に○の付いている仕訳が書込対象です。 書込 キャンセル

全選択/全解除 [F12] 日付で税率の自動判定を行う

番号	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	摘要
○ 1	現	金	売上高 1	110,000		10,000内10	現金売上
2	売掛	金	売上高 1	108,000		8,000内8	掛売上
○ 3	現	金	売上高 1	21,600		1,600内8軽	売掛金回収
○ 4	受取	手形	売掛金				売掛金回収
○ 5	当座	預金 1	売掛金				売掛金回収
6	売上高 1	売掛金				内10	返品
7	売上値引	売掛金				内10	値引
8	売上戻り	売掛金				内10	返品
9	現	金	雑収入			内10	

- * 「個別」ボタンを削除し、常に個別モードにしています。
- * 「全選択/全解除 [F12] 」ボタンを追加し、全仕訳の選択・解除ができるようにしています。
- * 番号欄に「○」が付いている仕訳が書き込み対象です。
- * Shift+矢印キーで範囲指定、スペースキーで個別選択ができます。
(ダイアログ上部に説明文を表示しています。)

⑥F4(入力設定)で「部門摘要枝番を使用する」のチェックがONの場合、伝票入力・出納帳入力でも、部門枝番名称を表示するようにしました。

2) 元帳検索

①元帳検索における他者入力仕訳の閲覧権限対応。

●残高権限

- 残高閲覧権限なし → 科目の開始残高を0で表示します。
- 利益・純資産閲覧権限 → 元帳コンボボックスでの科目選択不可は従来のままです。

●仕訳閲覧権限

- 他者入力閲覧不可 → 他者仕訳を見られないように変更しました。
自身の入力仕訳のみ表示 合算を行う

②仕訳入力の「部門摘要枝番を使用する」にチェックがついている場合、部門枝番名称を表示するように対応しました。

3) 科目日計 (集計) 表

①部単位で印刷に対応しました。

②チェックボックス「指定期間を合算する」を追加しました。

4) 科目別日別残高表

①科目日別集計表において、残高のある未発生科目の出力に対応しました。

- ・ [F12 条件設定] において、科目指定以外の選択については「科目日別残高表」と「年間日別集計表」とで分けてどちらの画面からでも設定可能としました。
- ・ [F12 条件設定] の科目日別残高表枠内に、「未発生科目を出力する」チェックボックスを設け、科目日別残高表で未発生科目の繰越残高を出力できるように対応しました。

② [F12 条件設定] 内の「指定された月を右から出力する」チェックボックスを「指定月←過去月」「過去月→指定月」のコンボボックスからの選択式に変更しました。

5) 部門設定

①部門コードを変更できるように対応しました。

(部門コードの変更手順例)

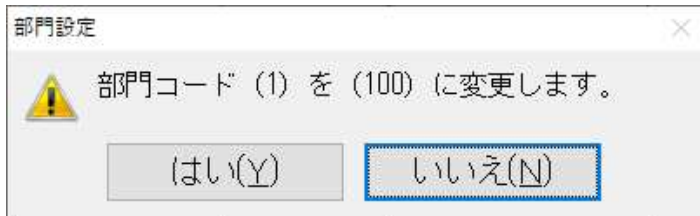
(1) 「部門登録」タブの部門一覧でコードを変更したい部門を選択します。

消費税設定		詳細設定	集計部門設定	入力部門設定
部門	部門名称	カナ	合・明	
1	部門 1	ブモン	明	
2	部門 2	ブモン	明	

(2) 新しい部門コードを入力します。

消費税設定		詳細設定	集計部門設定	入力部門設定
部門	部門名称	カナ	合・明	
100	部門 1	ブモン	明	
2	部門 2	ブモン	明	

(3) 下記のメッセージで「はい」を選択します。



(4) 部門コード (1) が部門コード (100) に変更が行われます。

消費税設定		詳細設定	集計部門設定	入力部門設定
部門	部門名称	カナ	合・明	
100	部門 1	ブモン	明	
2	部門 2	ブモン	明	

※以下の条件に当てはまる場合は、部門コードの変更を行えません。

- ・すでに登録されている部門コードで変更しようとしたとき
- ・総合計部門のコードで変更しようとしたとき
- ・仕訳に発生があるとき
- ・非営利配賦構造に設定されているとき
- ・過年度マスターで非営利配賦構造に設定されているとき

※部門コード変更対応と合わせて削除の対応も行います。部門削除不可の条件が従来から変わり、仕様等の見直しを行い、これまで削除不可となっていたものを削除可能となるように対応しました。

<削除不可> ※赤字で記載している箇所が従来からの変更点です。

- ・総合計部門のとき
- ・仕訳に発生があるとき
- ・科目別配賦の共通部門に設定されているとき
- ・科目別配賦の共通部門が設定されていて、該当の部門を削除すると配賦先として登録可能な部門がなくなるとき
- ・削除しようとしている合計部門の子部門に科目別配賦の売上高比率などが設定されていて、該当の科目に残高があるとき
- ・非営利配賦構造に設定されているとき
- ・過年度マスターで非営利配賦構造に設定されているとき
- ・内部取引消去残高があるとき（社会福祉のみ。内部取引消去専用部門にも制御をかけています。）

<削除可能になるもの>

- ・定型仕訳登録に部門の登録がある場合は削除不可 → **登録があっても削除可能に変更。**

6) 定型仕訳登録

- ①仕訳入力でのF4入力設定にて枝番摘要を仕訳摘要にセットするチェックボックスの状態をONにしている場合、定型仕訳登録の業務でも枝番の名称が摘要欄に複写されるように対応しました。

II. 決算

1) 勘定科目内訳書

- ①[⑥有価証券の内訳書]のソート項目が「種類・銘柄」と一つにまとまっていたのを、「種類」「銘柄」で分けてソートができるように対応しました。

※既存マスターで「種類・銘柄」を選択していた場合は、「種類」に移行されます。

- ②財務連動の連動科目において、初期から設定されている連動科目を削除しようとするすると「規定科目なので削除できません。」とメッセージが表示されて削除できなかったのを、メッセージを表示せずに削除ができるようにしました。

※上記対応に伴い、連動科目を初期状態に戻す機能として[初期化]ボタンを追加しました。

- ・[初期化]ボタンをクリックすると右下の確認メッセージを表示します(はい/いいえ)。
- ・連動科目一覧に追加登録をしている場合、[はい]を選択すると追加された科目はすべて削除されて初期状態に戻ります。

- ③メニューバーの保管～保管参照で表示される「保管参照」ダイアログにおいて項目幅や表示内容を見直しました。

(1)全体的に文字サイズを縮め、できるだけ多くの文字数を表示できるようにしました。

(2)「全項目を1画面に表示する」のチェックボックスを追加しました。(下記赤枠)

- ・「全項目を1画面に表示する」にチェックを付けると、項目タイトルの表示文字数を一部カット(下記参照)し、括弧や点を全角から半角に変更します。
- ・「全項目を1画面に表示する」の選択は、終了後もその選択を保持します。
- ・従来の任意で行う幅調整などは、「全項目を1画面に表示する」のチェックのON/OFFに関わらず使用できます。

※様式⑩-2は元々項目数と文字数が少ないため対応していません。

様式⑭-2は保管機能が無いため対応していません。

●表示文字数変更項目

- 様式② 「割引銀行名及び支店名等」 → 「割引銀行及び支店等」
- 様式④-2 「期中の受取利息額」 → 「受取利息」
- 様式⑥ 「期末現在高(数量)」 → 「期末(数量)」
- 「期末現在高(単位)」 → 「(単位)」
- 「期末現在高(上段)」 → 「期末(上段)」
- 「期末現在高(下段)」 → 「期末(下段)」
- 様式⑪ 「期中の支払利子額」 → 「支払利子」
- 様式⑫ 「売上商品の取得年」 → 「取得年」
- 様式⑬ 「期末従業員数」 → 「従業員数」
- 様式⑭-1 「常勤・非常勤の別」 → 「別」
- 様式⑮-1 「地代・家賃の区分」 → 「地代・家賃区分」

④項目のタイトル部をクリックすることで並び替え(ソート)ができるように対応しました。
(下記緑枠)

- ・クリックすることで昇順/降順が切り替えられます。
- ・クリックした項目のみでソートします(第2候補はありません)。
- ・ソートは各列で“50音順”の並び替えになります。
- ・「科目」「金融機関名」「支店名」「相手先」は[F9参照]のカナを基にソートします。
- ・「所在地」や「摘要」などのカナを持っていない項目は、文字コードでのソートになります。
- ・昇順/降順を項目タイトル部に三角マーク(▲▼)で表示します。

※様式⑭-2は保管機能が無いため対応していません。

●「全項目を1画面に表示する」のチェックボックスがOFFの場合

全項目を1画面に表示する

全解除 全選択

削除 戻す 閉じる[ESC]

●「全項目を1画面に表示する」のチェックボックスがONの場合

全項目を1画面に表示する

全解除 全選択

削除 戻す 閉じる[ESC]

⑤[②受取手形の内訳書][⑧支払手形の内訳書]の2様式において、ソート時に行っている一括金額の判定を、取引先毎に集計した総額または取引先・科目毎に集計した総額で判定するようにしました。

[②受取手形の内訳書]

- ・ 詳細設定を使用する=チェック OFF → 取引先毎に集計した総額で判定します。
- ・ 詳細設定を使用する=チェック ON → 取引先・科目毎に集計した総額で判定します。

[⑧支払手形の内訳書]

- ・ 取引先毎に集計した総額で判定します。

*また、上記の対応に伴い「取引先毎の総額確認」ボタンを追加し、取引先(科目)毎の総額を確認できるようにしました。

ソート

ソート順

第1ソート項目: 振出人(番号順) 改頁を行う

第2ソート項目: なし 科目行を挿入する

第3ソート項目: なし

小計

「小計」を自動挿入する

一行でも小計を挿入する

小計行の次に空行を挿入する

小計の名称: 小計

小計の括弧: 【】

改頁、小計の挿入を支店名毎に行う

一括金額

一括金額を行う

1,000,000 円未満一括

詳細設定を使用する

一括金額に0円を含まない

● 詳細設定を使用する=チェック OFF
(一括金額設定: 50万円)

取引先	金額
○○株式会社	700,000
××株式会社	900,000
△△株式会社	450,000
○●株式会社	50,000
【取引先未入力】	50,000

一括金額の対象となる取引先

● 詳細設定を使用する=チェック ON
(一括金額詳細設定: 受取 50万円/割引 0円)

取引先	科目	金額
○○株式会社	受取手形	500,000
	割引手形	200,000
××株式会社	受取手形	300,000
	割引手形	600,000
△△株式会社	受取手形	450,000
○●株式会社	【科目未入力】	50,000
【取引先未入力】	受取手形	50,000

一括金額の対象となる取引先、科目

- ・ 一括金額の対象となる取引先・科目には、背景色を付けて表示します。
- ・ 科目や取引先が未入力のデータがある場合は、【取引先未入力】【科目未入力】と表示します。
- ・ 割引手形を個別表示する場合は、詳細設定で割引手形の一括金額を0円に設定してください。

* 一括金額行について

- ・ 「小計」を自動挿入する=チェック ON の場合、他の様式では第1ソート項目ごと一括金額行を作成しますが、[②受取手形の内訳書][⑧支払手形の内訳書]で、第1ソート項目が「振出人(支払先)」の場合は、一括金額行は最終に1行のみで作成します。

[②受取手形の内訳書]で、第1ソート項目が「科目」の場合は、科目毎に一括金額行を作成します。

- ・「小計」を自動挿入する=チェックOFFの場合は、第1ソート項目が「振出人(支払先)」「科目」の場合とも、一括金額行は最終に1行のみで作成します（他の様式と同様）。
- ・ソート処理で作成された一括金額行からデータを入力画面に戻す場合は、一括金額～「一括金額参照」で、入力画面のデータを一括金額行に含める場合は、一括金額～「一括金額追加」で編集してください。

Ⅲ. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

①上書き確認ダイアログでマスターの処理形式を表示するように変更しました。

※年次マスターを合併マスターをコピーすると、合併マスターが削除され、年次マスターが上書きされます。ご注意ください。

上書き確認

⚠ 指定した会社コードと同じコードのマスターが、既にコピー先に存在します。上書きでコピーしてもよろしいですか？

コピー元マスター	処理形式	財	消	内	減	法	所
会社コード	00000500	年次	○	○			
会社名	年次						
決算期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日						

↓

コピー先マスター	処理形式	財	消	内	減	法	所
会社コード	00000501	合併	○	○			
会社名	合併						
決算期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日						

以後の登録済み会社コードは、全て上書きでコピーする

OK キャンセル

2) マスター&データ抽出

①決算書関係にて帳票毎に出力行間を設定できる改良を行う際に追加された情報（F6 項目登録→出力行間設定内の設定値情報）に関して、通信移動処理では決算書情報を移動対象外としている為、今回追加された追加情報も移動対象外となるよう対応を行っています。

Ⅳ. 表形式

1) 表形式仕訳データ取込

①「枝番摘要を変換」の下部に新しくチェックボックス「登録済みの枝番摘要を上書きする」を追加しました。

表形式仕訳データ取込

入力形式: db仕訳形式

ドライブ名: C:

ファイル名: ICSwinWORK\YdbSIWAKE.CSV 参照

枝番摘要を変換する

登録済みの枝番摘要を上書きする

ファイル名に会社番号を反映させる

ファイル名を会社ごとに保存する

部門未登録チェックを行う

枝番未登録チェックを行う

データ取込

- ・「枝番摘要を変換」から「枝番摘要を変換する」にチェックボックスの名称を変更しています。
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」の初期設定はオフにしています。
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っている状態でデータ取込を行った場合、

従来通り CSV に記入されている枝番摘要で登録済み枝番の摘要コード・枝番名称・カナを上書きします。

- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っていない状態でデータ取込を行った場合、登録済みの枝番の摘要コード・枝番名称・カナは上書きしません。
- ・「枝番摘要を変換」にチェックが入っている場合のみ「登録済みの枝番摘要を上書きする」が選択できます。

修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

- ①事業期間の期末が、うるう年で 2 月 27 日、2 月 28 日の場合に翌期の期首が正しく計算されていなかったのを修正しました。
翌期の期首が 27 日の場合は 2 月 29 日開始、28 日の場合 3 月 1 日開始となっていました。

2) 残高合併

- ①合併対象マスター追加時、処理月に仕訳がない場合出力していたメッセージ「残高合併処理月(○月)のデータ件数が 0 件です。継続しますか？」を表示しないようにしました。
- ②追加した明細科目に科目残高がない状態で予算合併処理を実行すると、他業務でエラーがでていたのを修正しました。
※予算実績対比表業務でプレビューや印刷を押しても「科目残高レコードの読み込み中にエラーが発生した為、集計処理が行えません。」とエラーが出て出力ができない状態となっていました。

3) マスター修復

- ①摘要に改行コードが入り込んでいる仕訳データが存在すると、一部のプログラムで不正な動作をしてしまうので、摘要の不正文字（改行コード、TAB 文字）をカットする修復処理を追加しました。
詳細は「表形式仕訳データ取込」の修正内容をご確認ください。
※過年度マスターで、[決算確定] されている場合は、解除後「マスター修復」を行ってください。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①仮受・仮払消費税等の科目を明細科目拡張した場合、一括修正の検索で該当科目の仕訳を検索できなかったのを修正しました。
- ②うるう年の 2 月 29 日の仕訳を、うるう年でないマスターに仕訳コピーした場合、「日付範囲外」となりコピーできなかったのを、2 月 28 日の仕訳としてコピーするようにしました。
- ③定型伝票処理で作成した仕訳を取り消す処理を行ったのにもかかわらず、伝票登録すると金額がゼロでその仕訳が作成されていた不具合を修正しました。
- ④伝票形式（入金・出金）で、外税で仕訳を入力したときに、合計欄に税込金額を表示しますが、伝票登録後、該当伝票を呼び出すと合計欄に税抜金額が表示されていたのを修正しました。
- ⑤枝番桁数の設定が 2 桁のマスターで、画面番号での枝番の呼び出しが正常に動作していなかったのを修正しました。
- ⑥仕訳検索から仕訳の金額を修正した後に、F9 合計を行うと正しく金額が集計されていなかったのを修正しました。
- ⑦一括税抜き（総額方式）になっているマスターで、税率を 8%軽減にして固定資産譲渡の仕訳を入力した時に、仮受消費税/固定資産売却益・損の仕訳しか一括税抜きの仕訳として発生しないように修正しました。

※既存マスターについては、該当仕訳の金額の変更、若しくはマスター修復を行うことで改善します。

- ⑧クラウド共有マスターで、日付固定した状態で終了していたマスターを参照モードで開くと、「『クラウド参照モード』仕訳の入力・修正をすることはできません！」のメッセージが OK を押しても再表示を繰り返し、プログラムが終了できなかったのを修正しました。

2) 元帳検索

- ①科目の最初の科目の相手科目に枝番が付いており、0 円の仕訳があると該当仕訳がありませんと表示されていたのを修正しました。
- ②指定した期間に仕訳発生がなかった場合に翌月への繰越の差引残高が正しく表示されていなかったのを修正しました。
- ③TS 環境において、元帳検索が頻繁に『動作を停止しました。』となっていたのを修正しました。

3) 残高問い合わせ

- ①F6 条件設定で「残高科目で合計科目を出力する」にチェックをつけ、売上高 1、売上高 2 など 2 科目以上指定した状態で比較残高タブをみると勘定科目に純売上高として合計額がでるが、推移損益タブ、推移貸借タブ、比較損益タブ、比較貸借タブの順にクリック後、比較残高タブに戻ると純売上高が表示されなくなっていたのを修正しました。
- ②比較残高タブを「発生比較」、左上の枝番ありで見ている場合、枝番の開始残高のみありで前期・当期ともに発生のない枝番が 1 つでもあると、枝番をダブルクリックで元帳検索に移行した際に指定した枝番の元帳が開けなかったのを修正しました。
- ③条件設定で残高一覧で合計科目を出力するのチェックをはずし、当期純利益を表示するにチェックを入れている状態で、下記手順で印刷するとプレビューでは表示される当期純利益が印刷されていなかったのを修正しました。
- 手順)
1. ツールバーの「F5 印刷」を選択して印刷画面を表示
 2. 印刷画面左上のプレビュー[F4]を選択
 3. プレビュー画面左上の印刷[F5]から印刷を行う
- ④「残高閲覧可（利益、純資産閲覧不可）」の権限ユーザーの場合でも、推移貸借、推移損益タブが表示されているのを、非表示に修正しました。

4) 科目設定・残高登録

- ①科目設定の科目名称変更で使用している科目（残高のある科目）で、使用欄の○×を×に変更しスクロールバーで移動しようとした時、メッセージ画面の OK が押せなかったのを修正しました。

Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

- ①固定資産で自動作成された仕訳も、元仕訳のイメージ摘要を表示するように修正しました。
- ※既存マスターについては、該当仕訳の金額の変更、若しくはマスター修復を行うことで表示されるようになります。今回提供したプログラムで読み取りした場合は、マスター修復をかけなくても表示されるようになります。

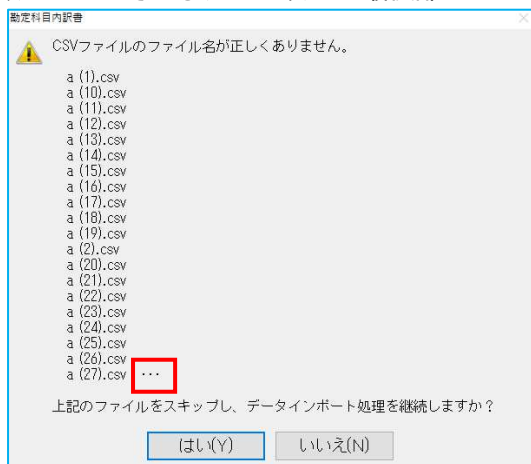
2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ① [F6 詳細設定] 内「課税取引期間計より消費税額を算出する（総額）」にチェックがあり、枝番を表示するとき、下記の不具合が起こっていたのを修正しました。
- (1) 枝番未入力の金額が元の科目の金額の合計に集計されていない。
 - (2) 前年対比タブで前期に枝番入力があり、当期に枝番入力がない科目がある時、「前期課税取引」「前期消費税額」の金額が正しくなかった。

IV. 決算

1) 勘定科目内訳書

- ① [一行でも小計を挿入する] のチェック OFF で、ページの最終行が一行しかない科目だった場合、画面を編集すると次頁の科目の【小計】に前頁の一行のみの金額が含まれる不具合を修正しました。
- ② データインポートの際、指定したフォルダに内訳書のインポート対象外のファイルが存在した場合に表示される「CSV ファイルのファイル名が正しくありません。」というメッセージについて、ファイル数が多い場合にはメッセージが収まりきらず閉じることができなかつたため、表示するファイルの数を 20 までとし、それ以上は最後に「…」で表示するようにしました。



- ③ 内訳書のタイトルが空欄の場合、余分なものが出力されたり出力中に応答なしになってしまう不具合を修正しました。

V. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ① F7 範囲指定で送信した際、挿入仕訳が存在すると送信した仕訳全てが送信済み状態にならないケースがあったのを修正しました。
- ② メール、USB が使用不可の環境の場合「有効なメディアが見つかりません」とエラーを表示していたのを、「ディスク保存」の対応に伴い不要となったのでメッセージを表示しないようにしました。

2) マスター&データ抽出

- ① 会計事務所側で該当マスターに仕訳が全く入っていない状態でマスター送信後、仕訳追加し、その後顧問先より送られてきたマスターを抽出すると追加仕訳が消えていたのを修正しました。

VI. 表形式

1) 表形式残高作成

- ① 推移表形式を前期のデータで出力した場合に、2 か月目以降の仕訳の金額が出力されず、2 か月目以降の金額に 1 か月目の金額が加算されていたのを修正しました。

2) 表形式仕訳データ取込 表形式出納帳データ取込 表形式振替伝票データ取込

- ① 【伝票種別を「振替伝票」として取り込む】にチェックありの状態でも摘要欄に「"」や「,」という文字がある CSV ファイルを取り込むとエラーになっていたのを修正しました。

②表形式データ取込業務でデータを取り込む際に、摘要に改行コードや TAB 文字が含まれていればカットして取り込むようにしました。

以上